

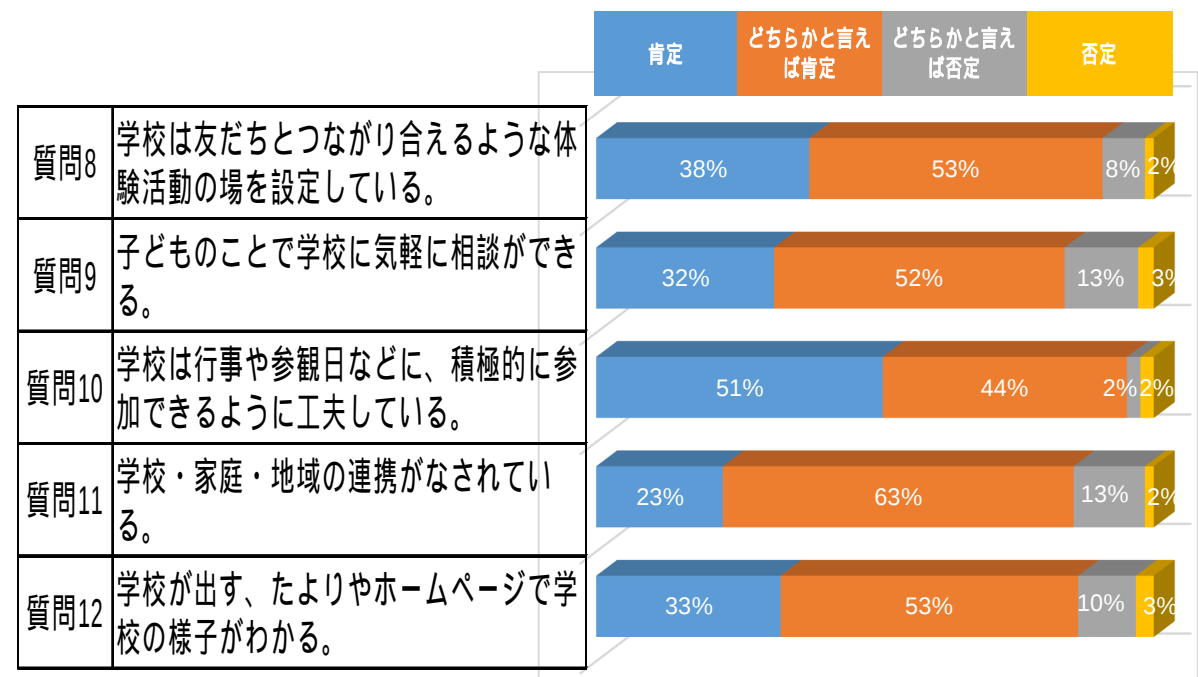
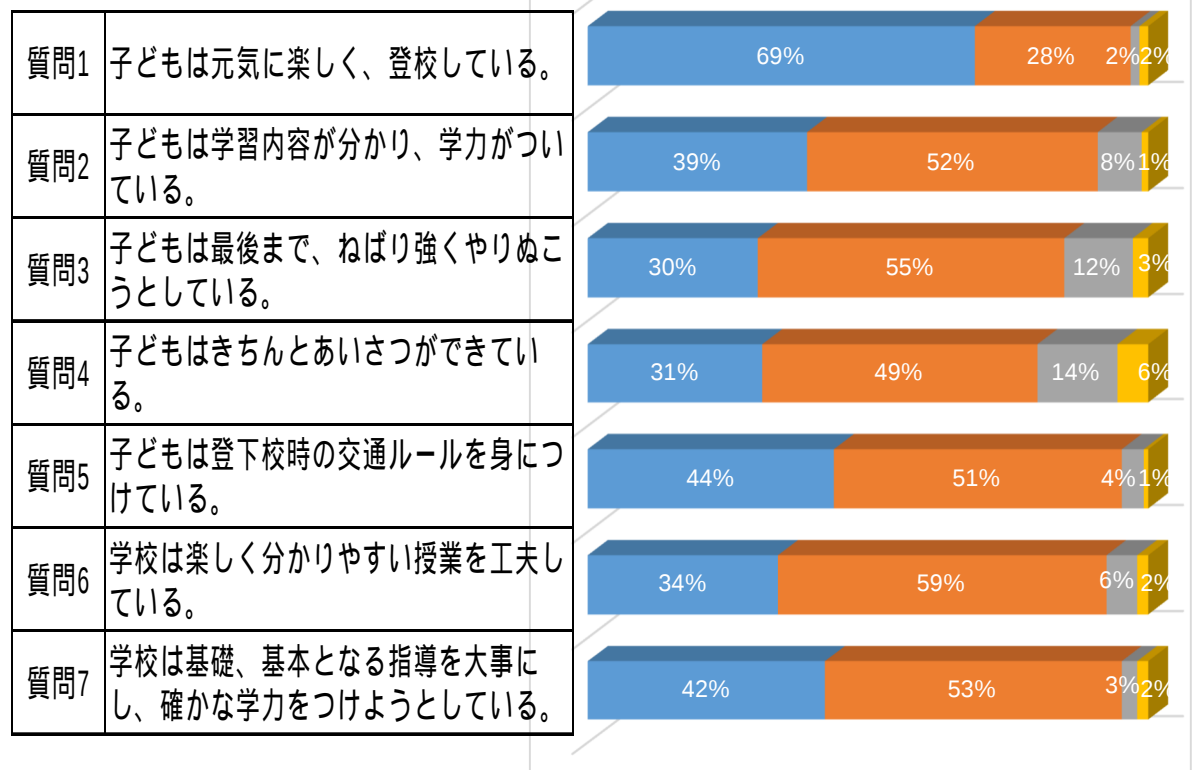
3学期もよろしくお祈いします

17日間というちょっと長い冬休みを終え、1月10日(火)3学期がスタートしました。今年も感染症対策を意識する日常が続きそうですが、その時々最善を模索しながら進めていきます。常識や慣習は日々の生活を安定させてくれますが、科学や人権はその常識や慣習を問い直すことによって更新してきた歴史があります。そして今もその歴史がつくられつつあり、私たちもその当事者として、今ここで共に生きています。大人も子どもも教職員も保護者も地域の方々も同じ当事者として語りあい、日々を送りたいと思います。今年も多田小学校をよろしくお祈いいたします。

学校評価の結果について

12月にご協力いただきました、本校教育に関する学校評価アンケートの集計結果をお知らせいたします。保護者の皆さまからの多田小学校教育活動全般に関するご意見をもとに、今年度を振り返り、成果と課題を分析し、来年度につなげていきたいと考えています。アンケートの回答ありがとうございました。

(有効回答数：251)



【傾向と分析】

各質問とも「どちらかと言えば～」を含め「肯定」的な回答が80%以上あり、子どもたちや学校の状況について、理解が得られていると考えています。しかし、項目ごとに見るとその状況は異なり、検討が必要とも考えています。特に検討が必要と思われる項目についてその内容をお伝えします。

質問1：保護者からの視点では、多くの子どもたちが元気に楽しくすごせていますが、約4%は否定的な回答になっています。特にその否定的な回答の子どもたちについて着目する必要があります。学校という場を誰にとっても居心地の良い場所とするため、それぞれの子ども の状況を校内や保護者、関係機関だけでなく、本人とも話し合いつつ、何をすればよいか検討を進めることが重要だと考えます。

質問4：あいさつができていないかについて、肯定的な割合が最も低くなっています。単純に検討すると子どもたちにあいさつをするよう指導すべきとなりますが、大人側が大人同士や子どもに対してのあいさつを検討すべきかもしれません。子どもたちの状況の多くは、我々大人社会（教職員も含む）の写し鏡ともいわれています。

質問9,11：学校に気軽に相談できる、学校・家庭・地域の連携がなされているという質問について積極的な肯定は多くありません。このことについて、感染症対策の影響もあったのではないかと考えられますが、学校運営協議会や地域学校協働本部の活動が始まったこと、PTA改革が進んできたこともあり、来年度からは意識的にさまざまな人々との関係性構築が重要だと考えます。まず出会い、語り合える関係を目指します。